

宇城市不知火温泉ふるさと交流センター利活用に係る
サウンディング型市場調査の結果について

令和7年11月28日
宇城市経済部商工観光課

1 サウンディング実施の目的

不知火温泉ふるさと交流センターは、平成7年に道の駅不知火の敷地内に建設され、現在は物産館及びレストランのみの営業を行っています。

当該施設のうち、温泉施設については未だ使用可能にも関わらず、利活用ができていない状況です。

のことから、現在営業している施設も含め、豊富なアイデアやノウハウを持つ民間事業者の力を活用しながら効果的な施設となることを目指し、本調査を実施しましたので、その結果を公表します。

2 対象用地の概要

不知火温泉ふるさと交流センター

所在地 宇城市不知火町永尾1910-1

敷地面積 14,306m²

(道の駅不知火に係る5,264m²は別途)

※建物情報は実施要綱及び関係資料に記載

3 サウンディングの実施スケジュール

(1)実施要領の公表 令和7年6月30日(月)

(2)現地見学会・説明会の参加申込期限 令和7年7月31日(木)

(3)現地見学会・説明会の開催 令和7年8月18日(月)～29日(金)

(4)サウンディング参加申込期限 令和7年9月12日(金)

(5)サウンディング実施日及び場所の連絡 令和7年9月17日(水)

(6)提案書の提出期限 調査実施日の概ね3日前

(7)サウンディングの実施 令和7年9月25日(木)から10月15日(水)
まで

(8)実施結果概要の公表 令和7年11月28日(金)

4 サウンディング参加者

エントリー事業者は7社でした。なお、事業社名は公表しません。

5 対話によりいただいた意見等の概要

(1)希望する事業方式(売買・賃貸借(事業年数))

- ・売買による事業運営
- ・賃借による事業運営（事業年数は未回答）
- ・指定管理による事業運営

(2) 希望する価格

本項目は公表しません。

(3) 使用目的及びアイデア概要

- ・ホテル又はトレーラーハウスの新設
- ・グランピング施設として利用
- ・コンビニエンスストアの建設
- ・温泉施設としての利用（指定管理）

(4)(3) 実現のための条件と課題

- ・建物の状態次第では解体希望（費用負担は要相談）
- ・事業運営が可能か設備等の状態確認をしたい。
- ・施設整備（修繕等）を行う際は、市による費用負担を検討してほしい。
- ・解体費用や登記費用（所有権移転、分筆等）の費用負担をしてほしい。
- ・農林水産物販売を手がける地元企業の紹介をして欲しい。
- ・道の駅との一括指定管理により、地域の生産者や加工会社との連携を強化することにより、新たな観光施設としての活性化ができます。

(5) 地域活性化への貢献等

- ・地元住民の積極的に雇用する。
- ・地域農林水産物の取扱いを行う。
- ・地域の憩いの場、交流施設として温泉施設を復活したい。

6 今後の方針

本サウンディング調査の結果を踏まえ、今後はプロポーザル方式による事業提案のための公募条件等を検討していくとともに、官民連携して当該施設の利活用を進めています。